

## 平成 29 年度新里紫桐会居宅介護支援事業所事業報告書

事業所は、利用者が在宅において可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況やその置かれている状況に配慮し、利用者の選択に基づいた適切な保険、高齢者支援サービスが総括的かつ効率的に提供されるよう支援を行いました。また、利用者とその家族との深い信頼関係を構築すると共に、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、提供されるサービス等が特定の種類または特定の居宅サービス事業者に偏ることのないよう、公正中立なサービス提供に努めました。

### 1 事業の概況

#### (1) 事業種類

居宅介護支援

在宅介護支援センター（ブランチ）

#### (2) 事業規模

居宅介護支援 : 要介護者ケアプラン 97 名

### 2 事業の実施状況

#### (1) 居宅介護サービス計画の支援

- ① 利用者の居宅を訪問し、利用者および家族に面談して情報を収集し、解決すべき課題の把握（アセスメント）に努めました。
- ② 指定居宅サービス事業所等に関するサービス内容、利用料等の情報を提供し、サービスの選択をしていただきました。
- ③ 利用者の目標とする生活に対し、提供されるサービスの内容、その達成時期、サービスを提供する上での留意点を盛り込んだ居宅サービス計画の原案作成を行い、説明と同意をいただきました。

#### (2) 経過観察・再評価

- ① 毎月の訪問で経過観察（モニタリング）を持ち記録をしました。定期的な評価を行い、状態の変化に応じて居宅サービス計画変更、要介護区分変更申請等必要な支援を行いました。

#### (3) 個人情報保護・秘密保持

- ① サービス提供をする上で、サービス担当者会議等において文書で予め利用者及び家族の同意を得ない限り個人情報を用いることはありませんでした。また、秘密保持を徹底しました。

#### (4) 連携・調整

- ① サービス担当者会議において、地域の保健・医療・サービス提供事業者等各関係機関との連携を図り、より良いサービスの提供に努めました。
- ② 利用者の入退院時、情報共有シートを活用し医療とのスムーズな連携に努めました。
- ③ 居宅サービス計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう、指定居宅介護事業所等との連絡調整を図りました。

#### (5) 給付管理

- ① サービス計画の内容に基づき毎月給付管理票を作成し、岩手県国民健康保険団体連合会に提出しました。

#### (6) 職員研修

- ① 職員の資質向上を図るため、法人で実施した内部研修会及び外部で開催された各種研修会に

参加しました。

区分	開催数	延べ参加人数
各種外部研修会	23	27
法人内部研修会	4	6
ケアマネジメント部会（宮古市）	7	13

(7) その他

- ① 介護保険施設等への入所を希望した場合は、介護保険施設等への紹介、その他の支援を行いました。
- ② 研修会等へ参加し、ケアマネジメントの充実と質の向上に努めました。
- ③ 台風等の自然災害時には、利用者の安否確認に努めました。
- ④ 事業所内での情報の共有をもって、利用者への継続した支援ができるよう努めました。

3 利用者の状況

(1) ケアプラン作成件数

	登録者数	ケアプラン作成数	介護予防プラン作成数
4月	66	63	7
5月	69	61	6
6月	69	62	5
7月	68	62	4
8月	69	58	4
9月	69	59	4
10月	69	64	4
11月	69	61	3
12月	70	65	5
1月	71	63	3
2月	71	69	3
3月	71	57	3
計	831	744	51

(2) 認定調査件数

	更新	区分変更	計
要介護	40	3	43
要支援	6	0	6
計	46	3	49